



これって救急車? ~判断に迷ったら「電話相談」を~

令和2年、市川市の救急出動件数は、21,960件。

近年、増加の一途をたどっていた救急出動ですが、前年と比較して1,890件(7.9%)の減少となりました。

この要因として、新型コロナウイルスの感染拡大により、軽症者が医療機関の受診を控えたことや、感染防止意識の向上、外出自粛による行動制限等が影響したものと考えられ、実際に、軽症者の占める割合は50.53%と前年と比較して0.41%減少しています。

このように、結果的には救急車の適正利用につながったと分析する反面で、本当に救急搬送を必要とする重症の方が救急要請を躊躇してしまうことが懸念されています。



市民の皆様へのお願い

急な病気やけがの際に、対応がわからずお困りの際は、市川市急病医療情報案内「あんしんホットダイヤル」(医師、保健師、看護師等が対応)にご相談ください。

☎ **0120-241-596** (24時間・無休)

また、消防局では、ためらわずに救急車を要請して欲しい症状や、子供の病気やけがの相談窓口を紹介する「案内カード」を作成し、Webサイト上に公開していますのでぜひ活用してください。

(名刺サイズで、印刷し携帯することができます。)



【案内カード】

~火災から大切な命を守りましょう~

住宅用火災警報器の維持管理について

令和2年の市川市内の火災件数は71件です。

これは、前年の火災件数と比べて21件減少しています。内訳は71件中51件(72%)が住宅火災で、火災原因の第1位はコンロからの出火です。不注意による火災を無くすためにコンロの火をつけたまま、その場を離れない、離れる時は火を消すように日頃から心がけることが大切です。

また、いち早く火災に気づけるように住宅用火災警報器を設置し、定期的に作動確認を実施してください。

定期的な作動確認

点検ボタンを押すか点検ひもをひっぱり、定期的(※1)に作動確認をしましょう。

作動確認をしても警報器に反応がなければ、本体の故障か電池切れです。(※2)警報器の本体又は電池を交換しましょう。



定期的な作動確認

古くなったら交換

火災警報以外の警報が鳴った場合

本体の故障か電池切れです。(※2)警報器本体を交換しましょう。



古くなったら交換

※1 住宅用火災警報器の電池の寿命は約10年とされています。警報器の作動確認は、春秋の火災予防運動の時期に行うなど、定期的に実施してください。

※2 故障か電池切れかわからない時は、取扱説明書を確認するか、メーカーにお問い合わせください。なお、電池切れと判断した警報器が設置から10年以上経過している場合は、本体内部の電子部品が劣化して火災を感知しなくなることが考えられるため、本体の交換を推奨しています。

出典:総務省消防庁webサイト

カッコいい大人たちが守る いちかわ

CIVIC PRIDE

ICHIKAWA CITY FIRE VOLUNTEER CORPS

市川市消防団

since May 10th, 1947

地域のために本業の傍ら日夜活動している
消防団員の活躍を紹介!!

「市川市消防団プロモーションビデオ」

YouTubeにて配信予定 (令和3年3月上旬)



会社員



主婦



漁師



大学生



鳶職



大学生



農家

災害発生時は、落ち着いた行動を!

大規模な災害が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。多くの人が一斉に徒歩で帰宅を始めると、火災や沿道の建物からの落下物などにより負傷する危険があるばかりでなく、災害時に優先されるべき救助・救急活動の妨げとなります。

【災害発生時はむやみに移動を開始しない】

- まずは自分の身の安全を確保しましょう。
- 職場や集客施設等の安全な場所にとどまりましょう。
- 災害用伝言サービスにより家族の安否確認や自宅の無事を確認しましょう。
- 交通情報や被害情報などを入手しましょう。

災害用伝言サービスとは?

災害発生により被災地への通信が増加し、繋がりにくい状況になった際に、電話やインターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う伝言板です。

「災害用伝言ダイヤル(171)」

固定電話の番号あてに音声による安否情報を録音・確認できます。171をダイヤルし、ガイダンスに従ってメッセージの登録・確認をしてください。一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS、スマートフォンから利用できます。

「災害用掲示板」

携帯電話、PHSのインターネット接続機能を使い、文字情報による伝言の登録と確認ができます。各携帯会社のトップページから「災害用伝言版」を選択してメッセージを登録・確認してください。インターネットに接続できる携帯電話、PHSから利用できます。

消防局公式Twitterスタート

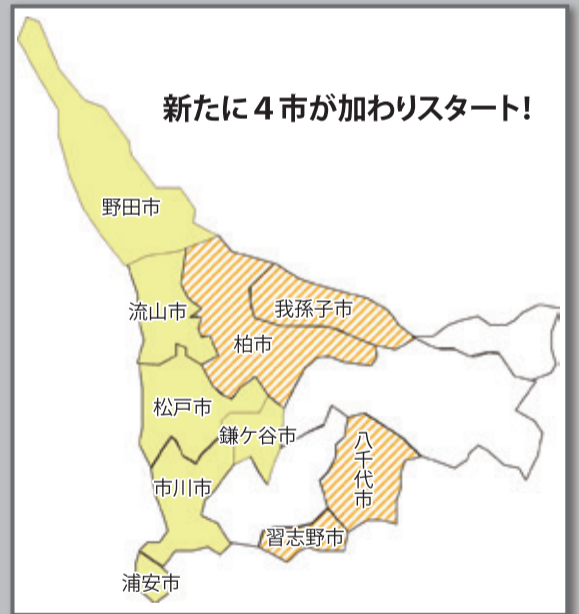
消防局の取り組みやイベント等の消防に関する情報を発信しています。リツイート、いいね!フォローをお願いします。



←詳細はこちら

ちば北西部消防指令センター運用開始

市川市、松戸市、野田市、流山市、鎌ヶ谷市、浦安市で共同運用していた消防指令センターが、令和3年2月1日新たに習志野市、柏市、八千代市、我孫子市を加え、10市による「ちば北西部消防指令センター」として運用を開始しました。



新たに4市が加わりスタート!



この共同運用により、大規模災害や救急車が多数出場している場合などの対応が強化され、隣接した市からスムーズな応援を受けることが出来ます。

また、聴覚障がい者からの通報や市川市の高齢者支援事業にも対応し通報から指令までを迅速に行うことが出来ます。

119番通報の方法に変更はありませんが、通報する際は、指令センター職員から聞かれた内容について慌てず、簡潔に答えてください。

特に、携帯電話から通報する際の住所は「市川市」から伝えるようにしてください。

